

平成 25 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	観光温泉地における再生可能エネルギー及びバイオマスの利活用による地域活性化モデル事業
事業主体 (連絡先)	松本浅間温泉地域環境モデル推進協議会 (松本市商工観光部商工課 Tel.0263 - 34 - 3270)
事業区分	環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	1,960,350円 (うち支援金: 1,081,000円)

事業内容

松本市浅間温泉地域において、地域の特性を活かした環境事業を実施し、エネルギーの地産地消と物質循環による環境配慮型温泉地の実現を目指すもの。

廃食用油から精製した BDF (ハイディーゼル燃料) の普及を促進するため、同地域に計量機を設置して課題であった利便性を向上させた。

また、大型の回収容器を購入して事業者へ貸与し、回収回数を減らす等の効率化に努めることによって BDF 化事業をより円滑に循環させ、環境にやさしい温泉地とする地域ブランドの確立から地域経済の活性化を促し、他観光温泉地等へ展開可能な環境モデルを構築するもの。



浅間温泉地域に設置した計量機

※ 1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

BDF 化事業では、地元観光協会が主体となり会員へ積極的に協力を依頼した結果、宿泊施設等の地元観光協会 49 会員のうち 63% (前年比 6% 増) から協力を得られた。B5 (BDF 5% 混合軽油) の計量機を同地域へ設置して給油可能となったことから BDF の普及が加速され、同地域のマイクロバス 14 台が軽油から B5 に変更した場合、二酸化炭素の排出量を削減し、地球温暖化防止の効果が期待できる。

- ・ 二酸化炭素削減量 1.0 t-CO₂/年
- ・ 二酸化炭素削減率 2.9%

【目標・ねらい】

- 資源循環型社会の形成
- エネルギーの地産地消
- ブランド力向上による温泉地の活性化
- 他地域への事業拡大

※ 2 自己評価 (事業効果) 【 A 】

今後の取り組み

- 1 BDF 化事業の促進
 - (1) B5 を燃料とするマイクロバスの走行
 - (2) 農業用トラクタへの用途拡大及び収穫した農作物を浅間温泉地域のイベント等で販売

※ 1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※ 2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある